



医療

公益財団法人 脳血管研究所 美原記念病院

所在地 / 伊勢崎市太田町366
TEL / 0270-24-3355 <https://mihara-ibbv.jp/hp/>
開設 / 1964年(昭和39年)8月 従業員数 / 471名(2025年3月現在)



もっと、くわしく
見てみよう!

職場見学可能です

? 脳・神経疾患の専門病院って どんな病院?



脳卒中や認知症、神経難病などの
脳に関わる病気を治療します。

脳卒中は、脳の血管が切れたり、詰まったりすることで起こる病気で、手足がうまく動かせなくなったり、言葉が話せなくなったりします。重い場合は、救急車で運ばれることも少なくありません。認知症は、もの忘れがひどくなり、いつもと違う行動をすることが多くなるため、家族などのサポートが必要です。神経難病は、原因不明の病気で少しずつ手足が動かしにくくなり、代表的なパーキンソン病は、日常生活が徐々に困難になります。



? どんな人たちが患者さんと関わっているの?



患者さん一人ひとりを良くするために、さまざまな専門スタッフがチームで関わります。

病院では、ご覧のように多くの専門スタッフが関わり、治療やケアにあたります。



医師

医学の専門知識を持ち、検査結果を踏まえ患者さんを診察し、治療方針を決定します。



看護師

患者さんの心身のケアや、医師の診察・治療をサポートします。血圧や体温の測定、注射、点滴、入院患者の食事や身の周りの世話をします。



薬剤師

患者さんは退院後も薬を飲むことが必要となるため、安心して服用できるよう支援します。



診療放射線技師

医師が適切に診断できるようCTやMRIなどの機器を使い脳や血管を撮影します。



臨床検査技師

尿や採取した血液の成分分析、エコーや心電図で臓器の動きを測定、採取した組織を顕微鏡を使い観察します。



理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

「立つ・歩く・口から食べる」ことにこだわっています。患者さんのニーズに応えられるよう、また病気により麻痺などの障害が残っても自分らしく豊かな生活ができるよう支援します。



管理栄養士

再発予防を含め、適切な栄養が摂取できるよう調理方法や栄養管理の助言を行います。



社会福祉士

医療ソーシャルワーカーと呼ばれるスタッフが地域の関係機関と連携をとり、患者さんの退院後の生活について一緒に考え計画をたてます。



事務員

患者さんが検査や治療をスムーズに受けられるように手続きを行います。

? 医療業界の社会課題に どう取り組んでいるの?



医師の長時間労働などさまざまな課題に取り組んでいます。

医療業界では、医師の長時間労働や地域による医療従事者の偏り、また医療費の問題などさまざまな社会課題があります。私たちは地域の患者さんがこの先も安心・安全な医療を継続して受けられるよう、こうした社会課題にも積極的に取り組んでいます。

こういった社会課題への取り組みにとどまらず、専門職がやりがいをもって働けるよう、専門性の向上にも努めています。例えば、看護師であれば、特定行為看護師の育成があります。これは高い専門知識とスキルを携えた看護師の養成であり、医師の業務負担軽減につながるとともに、医療の質を高めることにつながります。



患者さんの治療について医師と検討



医師が行う治療の一部を行えるように指導を受ける看護師

働く人の声を聞いてみよう!

Q&A

Q. 仕事内容や日々の業務について教えてください

外来や救急外来、手術室において、医師やスタッフと連携し、検査や治療が円滑に進むようサポートしています。患者さんの状態を観察し、症状に応じて診察の優先度を判断し、迅速に対応することも重要な役割です。安全で質の高い看護や医療を提供できるよう心がけています。

Q. 仕事の魅力、やりがいは?

治療や手術を受けた患者さんが元気に外来へ通う姿を見ると、自分も嬉しくなり、この仕事を選んでよかったと実感します。チームで協力しながら医療に貢献できることや、自分の判断や行動が患者さんの助けになることに大きなやりがいを感じています。



外来・手術室 看護師
あきもと ゆき
秋元 裕季 さん

Q. 円滑に仕事を進めるために心がけていることは?

コミュニケーションの重要性を実感しています。若年者から高齢者まで幅広い世代の患者さんや、多職種のスタッフ、リハビリスタッフの先輩・後輩と関わる中で、相手の立場を理解しながら会話することを心がけています。年々、その大切さを改めて感じています。

Q. 今後の目標は?

作業療法士としてのスキルアップはもちろん、研究活動を通して作業療法の発展にも関わっていきたいです。また、自動車運転の再開支援に取り組んでおり、退院後に移動手段に困る患者さんを支えるため、その課題解決に関わり、地域に貢献できる存在になりたいと考えています。



リハビリテーション部 作業療法士
いいの ゆうた
飯野 雄太 さん